

Limelight Content Delivery Service

Limelight Content Delivery Serviceは、あらゆるデジタルコンテンツ（ビデオ、イメージ、ファイル、音楽、ゲーム、Webサイトなど）を、世界中の多種多様なデバイスへ向けに送り届けます。Content Delivery ServiceはOrchestrate Platformを使ってソフトウェアや機能を追加してサービス管理を容易にし、オンラインユーザーのエクスペリエンスを最適化します。

主な機能

- **Webサイトのキャッシング** – 様々なサイズのオブジェクトを含む、Webサイトのコンテンツ全てをキャッシングします。
- **ラストマイルの高速化** – TCP最適化、コンテンツ圧縮、パーシステントコネクションなどの様々な技術を用いて、CDNエッジとエンドユーザーとの間のコンテンツ配信を高速化します。
- **オリジンの二重化をサポート** – 主サーバーがダウンした場合、バックアップサーバーに自動的に切り替えるよう設定することが可能です。
- **GZIPパススルー** – オリジンからの要求があった場合に、圧縮したオブジェクトを取得してキャッシュするよう設定することが可能です。
- **エッジでのGZIP処理** – CDNエッジでのオブジェクト圧縮が可能で、圧縮をサポートしているクライアントであれば、圧縮されたオブジェクトをそのまま受け取ることができます。
- **GET、HEAD、OPTIONS、POST** – HTTP動詞（メソッド）をCDNエッジでサポートします。
- **HTTP VODストリーミング** – お客様のインフラがオリジンとして機能する場合に、HTTP VODサービスを配信するよう設定することが可能です。
- **プロトコル** – IPv4、IPv6をサポートします。
- **グローバルな接続** – 光ファイバーで相互に接続された多数の配信センターと世界中の800以上のユーザーアクセスネットワークを、直接接続しています。
- **専用のVIP (Virtual IP Address)** – キャリアへ「ゼロレート」のトラフィックを送り込むための一連の専用IPアドレスを用意しています。
- **SmartPurge** – ほぼリアルタイムにキャッシュをクリアし、即座にコンテンツにアクセスできなくすると共に、ページされたことを確認できます。
- **転送速度制限** – ビデオやソーシャルメディアのような離脱率の高いコンテンツには、個々の配信について転送速度の上限を設けることができます。例えば視聴者がビデオの視聴を早い段階で取りやめた場合でも、見た分のコンテンツしか配信されておらず、その分の費用しかかからない上、ネットワークの混雑も回避できます。
- **HTTPヘッダー操作** – HTTPリクエスト及びレスポンスヘッダーをカスタマイズしてコンテンツキャッシングを制御し、高度な解析を可能にします。
- **セキュリティと保護** – Cloud Security Service機能の一環として世界有数のキャパシティを持つSSLサポートやURLトークン化などを統合しており、コンテンツを保護します。

デジタルコンテンツ配信における課題

多様化するデジタルコンテンツを、世界中の視聴者が望む品質で送り届けるためには、様々な課題を克服する必要があります。これらの課題に共通する要求基準は、スピードです。Webページの読み込みは速く、ビデオは即座に再生を開始し、ファイルのダウンロードはできる限り短時間で完了するのが望ましいと言えます。しかし、デバイスや配信フォーマットの多様化は非常に速い速度で進んでおり、それらを管理するためのワークフローも複雑化の一途を辿っています。こういった状況下で配信速度を高速化させていくのは難題と言えるでしょう。

また、拡張性という問題にも2つの側面があります。世界中に分散している視聴者に、どうすれば効率的に届けることができるのかという問題と、予測できないトラフィックの急増にどう対応するかという問題です。さらに組織は、コンテンツを不正なアクセスや盗難から守る為にライセンス制限をかけたり、企業Webサイトへの攻撃に対抗したりといったセキュリティの側面からも対策を講じる必要が出てきています。

Limelight Content Delivery Service

Limelight Content Delivery Service はどのようにして課題を解決できるのか

Limelight Content Delivery Serviceは、CDNエッジのキャッシュにWebサイトのコンテンツを配置し、ラストマイルの高速化を行い、オブジェクト圧縮により最初のページを読み込むまでの時間を短縮し、離脱率を抑えます。Content Delivery Serviceサービスは接続されたデバイスのタイプを自動的に判別して、全てのエンドユーザーに正しいフォーマットでコンテンツを配信することも可能です。また、ラストマイルの高速化とエッジでのキャッシングにより、ビデオ再生時に再生が止まってしまうリバッファリングを起こす率を大幅に引き下げ、ライブ及びオンデマンドのビデオコンテンツを視聴者に送り届ける際のユーザーエクスペリエンスを向上させます。そしてURLのトークン化や世界有数のHTTPSサーバーのキャパシティを使ったHTTPSによる配信により、コンテンツへの不正なアクセスを防止することも可能です。

ビジネスメリット

- **クラウドへの移行でインフラ投資金額を抑制** – 配信のための複雑なワークフローをクラウドベースのContent Delivery Serviceに移管することにより、ITインフラへの投資 (CAPEX) を削減でき、配備までの時間を大幅に短縮することができます。
- **離脱率の引き下げ** – 可能な限りエンドユーザーの近くにコンテンツを配置し、エッジで重点的にキャッシングを行うことにより、コンテンツをより高速に配信します。
- **視聴者のエクスペリエンスを常に高く維持** – コンテンツ配信における豊富な経験と知識を持つ24/7/365のグローバルサポートにより、問題を迅速に解決し、サービスの中断を防ぎます。

事例

CoachGuitarは、AppleのApp Storeで「ベストアプリ」に選ばれたことで、300万ダウンロードを達成しました。それまでのアクセス数は1日当たり2,000~3,000ダウンロードでしたが、突如として1日当たり40,000ダウンロードに跳ね上がったのです。

「幸運なことに、CoachGuitarの後ろにはライムライトのサービスが控えてくれていました。そのため私達はこのアクセス数の急増にも、安心して対応することができ、非常に助かりました。」(CoachGuitarチーフプロダクトオフィサー アントワーヌ・メルシェ氏)

Limelight Orchestrate Platformについて

Limelight Orchestrate Platformは、クラウドベースのソフトウェアをサポートする数千台のサーバーと、世界最大のプライベートネットワークのひとつを統合し、世界規模のコンテンツデリバリーとクラウドセキュリティソリューションを提供します。

Limelight Networksについて

Limelight Networks (NASDAQ: LLNW) は、デジタルコンテンツ配信のグローバルリーダーです。デジタルコンテンツを管理し、世界中の多種多様なデバイスに送り届けることで、お客様がオンラインの視聴者とよりよい関係を築くためのお手伝いをしています。詳しくは jp.limelight.com をご覧ください。

Limelight Networks および当社のサービスの詳細についてはこちらまでお問い合わせください。

ライムライト・ネットワークス・ジャパン株式会社

〒107-0061 東京都港区北青山2-7-28 NAビルディング2F

TEL: 03-5771-4230

info-jp@llnw.com ■ jp.limelight.com